



私たちは、地域から強く信頼される病院を目指します そのために、誠実で前向きで勤勉であるよう努めます

#### 

# 着任挨拶



事務部長戸丸享平



今年、4月1日に国立病院機構 (NHO) 宇都宮病院に着任しました事務部長の戸丸です。昭和53年に採用され37年目、11回目の転勤となります。よろしくお願い致します。

出身は群馬県利根郡川場村です。武尊山(標高 2,158m)の南麓に広がる自然豊かな農山村で、農業と観光の村づくりを推進しています。観光面では「川場村田園プラザ」は、関東好きな道の駅で 5 年連続 1 位に選ばれております。是非、遊びに来て下さい。

さて、当院は7年前までは経常収支が赤字の病院でした。このまま赤字が続けば病院の存続さえ危ぶまれました。平成18年9月に「患者の目線にたった患者中心の医療で、病院の経営を健全化しよう。」と『病院改革プロジェクト』を作成、更に平成23年10月には、病院の使命(公益性の高い政策医療と専門性の高い地域医療)を明確にし、常に成長する病院を目標に『病院前進プロジェクト』を作成し取り組んでおります。その結果、平成20年度以降6年連続の黒字となっております。このように病院の基礎を築いてくれた諸先輩方に敬意を表するとともに、今後も引き続き安定した病院経営の構築に全職員で取り組んでいきたいと思います。

その取り組みの一つとして現在、病棟の建替工事が進められています。RC6階建で①質の高い医療環境、②やすらぎの療養環境、③変化に強い施設環境をコンセプトに医療機能・サービス向上と耐震性を強化(免震構造)し、敷地内の自然を生かした設計となっています。1階・2階は重症心身障害児(者)病棟(各50床)、3階は手術室(5室)、4階は地域包括ケア病棟(60床)、5階は呼吸器内科(30床)と結核病床(30床)のユニット病棟、6階はリハビリテーション室で、今年11月にオープンの予定です。将来的には残りの病棟と外来診療棟を含めた全面建替も検討しています。

事務部門は、当院が継続的に地域に貢献していくために、診療部・看護部・コメディカル部門等への支援に取り組み、当院の理念である『地域から強く信頼される病院』を目指します。どうぞよろしくお願い致します。



看護部長中村正美



4月1日小春日和の桜が満開の中、宇都宮病院に着任致しました。栃木県での勤務は初めてですが、新幹線・高速道路へのアクセスもよく、観光スポットもたくさんあるので、歴史と自然を満喫しようと思っています。病院内は、緑あふれる広大な敷地を有していて、療養環境、地域の方達の散歩コースとしては最適だと感じています。現在は、新病棟建設工事中のため、多少にぎやかですが、皆さんのご協力により11月には移転予定で、準備を進めています。

今年度は診療報酬改定があり、当院の「プロジェクト」の目標である、施設基準の上位取得を目指し、平均在院日数の短縮、重症度・医療・看護必要度の適正評価、在宅復帰に向けた退院調整を行い、データ収集し申請の準備をしています。中でも看護師確保が重要な鍵なので、ホームページの更新やワークライフバランスに力をいれ、離職防止に努めています。

看護管理者として、これからの目標達成に向けて、職員一人ひとりが専門分野の能力を十分に発揮出来るように支援し、他部門と連携を取り情報共有し協力し合っていく事が大切であると考えています。看護師は最大の資産であるので、コミュニケーションを大切に、健康でやりがいを持ち安心して働き続けられる環境作りに努力していきたいと思います。宇都宮病院での出会いを大切に皆様のご協力とご支援を心からお願い申し上げます。



# 着任挨拶



神経内科医長 川上俊幸



皆様こんにちは、平成26年4月1日付で神経内科医長に就任致しました、川上です。私は獨協医科大学神経内科教室に入局、平田幸一教授に御指導をいただき、獨協医科大学病院にて2年間の臨床研修後、神経内科医として脳梗塞、脳出血などの脳血管障害、脳炎、髄膜炎といった神経系感染症、多発性硬化症などの神経脱髄性疾患、パーキンソン病、脊髄小脳変性症などの神経変性疾患、アルツハイマー病、血管性認知症などの認知症疾患、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎などの末梢神経疾患、筋ジストロフィー、重症筋無力症などの筋疾患、また頭

痛、てんかんなどの機能性疾患をはじめとする神経疾患の診療、研究に携わってまいりました。一方、学外派遣として、栃木県医師会塩原温泉病院、栃木県立とちぎリハビリテーションセンターに勤務し、脳血管障害、神経変性疾患、頭部外傷などにより、後遺症をかかえた患者さんのリハビリテーション診療にあたるとともに、外来診療、予防医学などの地域医療に従事いたしました。

当院では、内科系診療部長・神経内科医長である伊藤雅史先生とともに、神経難病の治療をはじめとする病棟業務、また外来業務として機能性疾患や変性疾患などの神経疾患の患者さんの投薬管理、また脳血管障害慢性期の患者さんなどの、血圧をはじめとする内科的管理につとめさせていただきます。御指導、御鞭撻の程を宜しくお願い致します。



呼吸器内科医長 長谷 衣佐乃

平成 26 年 4 月 1 日付けで、呼吸器内科医長に着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

私はこれまで、獨協医科大学病院、総合南東北病院に勤務し、呼吸器疾患全般の診療に携わってまいりました。前任地では、特に肺癌診療、気管支鏡診断に力をいれておりました。この度、縁あり県内最大の結核病床をもつ当院に勤務することとなりました。

結核は過去の病気と思われることが多いのですが、低蔓延国である欧米とくらべると日本は結核が蔓延しており(中蔓延国)、高齢者を中心に多くの発症者がみられます。近年は、リウマチなどの治療に生物学的製剤を用いられることも多く、治療薬による免疫抑制がきっかけで、若年者であっても結核を発症することがたびたびみられるようになっております。

結核診療は世界で標準化されておりますが、結核菌の性質からその治療には少なくとも6ヶ月から9ヶ月と長期間となっています。治療の完遂に困難が伴うことも少なくありません。治療成功のためには、患者さんご自身やご家族のみならず、看護師、保健師、地域の先生方との連携・協力が必須と実感しております。

当院には、結核・非結核性抗酸菌症をはじめ、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、肺癌、睡眠時無呼吸症候群など、様々な呼吸器疾患の方が来院されております。微力ではありますが、過去の経験を活かし呼吸器診療の充実に力を注ぐつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。



## 看護の日記念行事を開催して

行事委員会(東2病棟師長) 山崎美紀

平成 26 年 5 月 13 日 (火曜日) にヨークベニマル御幸ヶ原店のご協力をいただき、看護の日記念行事を行いました。今年で病院外での開催も8回目となりました。「国立病院機構 宇都宮病院は、あなたの健康をサポートします」をテーマに各種測定や健康相談を計画しました。

当日は、病院職員の協力を得て、買い物に来店したきた方々へ声を掛け、参加していただきました。測定コーナーでは骨密度、体脂肪率、血圧、身長・体重、重心バランスを測定しました。健康相談では、歯・口腔内について歯科医師、薬に関しては薬剤師、栄養に関しては栄養士、福祉に関してソーシャルワーカー等が相談に応じました。100名近くの地域の方々が参加して下さいました。例年骨密度測定が好評であり、今年度も骨密度測定器を2台準備しました。順調にスタートしたと思った矢先、骨密度測定器1台の調子が悪く、長時間お待たせし、計測できなかった方もおりました。何事も事前準備、確認が大切であり、今回のことを反省に今後のイベントに生かしていきたいと強く感じました。院内では外来に各看護単位の紹介ポスターを2週間掲示しました。各病棟の特徴を紹介した力作で、患者さんやご家族をはじめ院内職員にも見ていただきました。看護師の日ごろやっている

仕事内容や病棟の様子など興味 を持っていただくことができたの ではないかと思いました。

秋には新病棟へ移転します。 今後もこの記念行事のようなイベントを通じ多くの方と触れ合い、地域の皆さんの健康のサポートができるように努力していきたいと思います。





### 『骨・運動器疾患に関する研修会」を開催して

西1病棟看護師長 田野實 しのぶ

平成 26 年 6 月 5 日・6 日に、第 34 回骨・運動器疾患に関する研修会を開催しました。この研修会は、関東信越と東北の独立行政法人国立病院機構の看護職員を対象に、毎年当院が主催し行っています。今年で 34 回を向かえる伝統のある研修会です。今回の研修参加者は 32 名、当院の聴講生も含めると 57 名、岩手県からも参加がありました。

研修会は、「チーム医療における看護師の関わり」をテーマに、当院副院長をはじめ、整形外科副部長・看護師・運動療法士・栄養士・メディカルソーシャルワーカー・メディカルフットケア専門士が講師になり行いました。高齢者の骨折と関節疾患の臨床、脊椎手術・疾患の対策、骨運動器疾患患者の看護やリハビリテーション、栄養管理、退院支援、メディカルフットケアについて、チームを組み専門性を発揮しながら患者さんの治療とサポートの重要性を講義で伝えていきました。その中でも医師の講義やメディカルフットケアは実演があり、研修生から興味深い内容であると高い評価を受けています。退院支援とリハビリテーションはチーム医療をすすめるにあたり、看護師が中心になり調整していく役割なため、ほとんどの研修生が課題として取り上げていて、学びの多い講義となりました。

研修会では、意見交換会とした交流会も行い、軽食を囲み、お互いの施設の情報交換をし、楽しい時間を過ごしました。

今後も、骨・運動器疾患看護における専門 的な知識、技術の向上を図り、患者さんに安 全で質の高い看護が提供できるような研修に していきたいと考えています。



## お薬手帳お持ちですか?

薬剤師赤尾美奈

#### お薬手帳とは、患者さんに処方された薬の名前や飲む量、回数、飲み方、 注意することなど「薬歴」を記録するための手帳です。

持病がなければ持っている必要がないと思う方もいらっしゃると思いますが、お薬手帳を持つことで薬の飲み合わせの確認だけではなく、他の医療機関で処方された薬がわかり、より安全な治療が行えます。

また、震災等で薬がなくなってしまった時にも服用歴が把握することができるため、継続した薬物治療を行うことが出来ます。

当院では、退院されるときにお薬手帳に薬の内容を記載して、手帳をお渡ししています。

当院に入院される際は、お薬手帳を忘れずにお持ちいただきますようお願いいたします。







お薬手帳

アレルギー歴や副作用歴を記入する欄があります

受診の記録が一覧でわかります

#### 各医院や病院ごとに手帳を分けず、全ての医療機関で1冊にまとめましょう!

# 熱中症を防ぐために

栄養管理室長 内 山 智 子

近年、増加している熱中症。

気温が27℃を超えると、熱中症の症状は増えます。温度に湿度、輻射熱の条件が加わって熱中症の症状が増えます。 また、暑さに慣れていない時、突然気温が上昇した時、たとえば梅雨の合間に突然気温が上昇した日や梅雨明けで急 に暑くなった時にリスクが高くなります。

#### 熱中症とは

熱中症を引き起こす条件は、「環境」と「からだ」と「行動」によるものが考えられます。

環境・・・気温が高い、湿度が高い、風が弱い、閉め切った室内など

からだ・・・高齢者や乳幼児、糖尿病等の持病、低栄養状態、体調不良など

行 動・・・長時間の屋外作業、激しい運動など

#### ■熱中症予防には

1.水分・塩分補給 運動や作業をする前から水分を摂取。 こまめなに水分補給を。

汗を沢山かいたら、水分と一緒に塩分も必要。

- \*高齢者の方はのどの渇きが感じなくても、こまめに水分補給を。
- \*高血圧の人は夏でも塩分制限することが望まれる。

2. 食事と休養肉、魚、卵、大豆製品などの蛋白質は疲労回復に必須。

野菜や海草などをしっかり食べ、ビタミン・ミネラル類を補給。

1日3食規則正しく食べる。 休養と睡眠を十分にとる。

\*食欲がないからと、そうめんばっかりはダメ。

3. 服 装 吸湿性や通気性のよい素材で、ゆったりした風通しのよい物、 色合いも熱を吸収しない白系統の色が効果的。

直射日光は避け、帽子や日傘などで防止を。

熱中症は特に65歳以上の方々が多く発症されます。

暑い夏が今年もやってきます、熱中症に負けない対策を日頃から意識して予防に努めましょう。



体温の上昇と調整機能のバランス が崩れると、どんどん身体に熱が 溜まってしまいます。この様な状 態が熱中症です。



## ボランティア「音寧 (ねね)の会」活動紹介

療育指導室 主任保育士 松本訓子

「音寧の会」(代表: 滝田常典さん) は、プロの音楽家によるボランティアを推奨する団体として、昨年より重症 心身障害病棟で演奏活動を行っています。

これまでに「ヴァイオリン」のリズミカルなメロディー、「沖縄三線」による心躍る音色、「ライアー」といわれる ハープに似た穏やかな音色など、利用者、家族はその近くで聞く生演奏に、心癒され励まされています。

音寧の会主催者に話を伺うと「私たちが行う院内演奏やコンサートの目的は、利用者や関係者の皆様に心を穏やかにして頂き、ひとときの安らぎを提供することが目的です。音寧の言葉にも音を楽しみ音に癒され心の安寧に繋げたいとの思いを込めました。」とのことです。

その思いは利用者に伝わり、音楽に合わせた発声や手足を動かして笑顔を見せるなど、体全体で音を楽しむ様子が 伺えています。

長期療養生活に豊かさと潤いを提供し、生活の質(QOL)を向上させたく、今後も「音寧の会」と連携協力し、音を楽しむ活動が継続できるよう努めていきたいと思います。





## フルートで癒しの空間を

療育指導室 児童指導員 野口 加代子

平成26年6月26日午後、当院の東6病棟ではフルートの柔らかい音色に包まれ歓喜に満ちていました。 小児慢性疾患の子供3名と一般の患者さんが長期療養するこの病棟では、生活の場としての要素も強く、以前から入院児より「生演奏を聴きたい」との要望がありました。それに応えるため、今年度から様々な演奏者を招き音楽会をスタートし、今回はその2回目となりました。

この日のフルート演奏者は当院の職員で社会福祉事業専門員の吉田恵子さん。勤務の一環として快諾し実現したものです。会場の食堂には入院児と共に一般患者さんも楽しめるよう広い空間を確保し、総勢 20 名が集い満員御礼となりました。

定番のクラシックや童謡が軽やかに流れると、高齢の患者さんは一気に表情が明るくなり、知っている曲では 心地よさそうに歌う姿もありました。七夕の歌を皆で合唱したり、ツリーチャイムに触れるなど参加型の音楽会と なり、個々に歓喜が溢れ賑やかな雰囲気となりました。

食堂への参加が難しかった方には、演奏者吉田さんの好意により病室を訪室しフルートの出張サービスを行いました。童謡や懐メロが病室に響き渡り、患者さんに笑みがこぼれていました。

会終了後、入院児が「本当は今日学校で嫌なことがあったけど今はリセットされた感じ」と話していました。今後も、 心の栄養として音楽会を継続していきます。



### ドクタークラーク紹介

医師事務作業補助者リーダー 佐藤祐子

当院では平成25年1月より電子カルテが導入されました。それ以降、一部の外来では診察の場に同席させて頂き、医師に代わって電子カルテの操作やカルテの代行入力をさせて頂いております。

私達は「医師事務作業補助者」、または当院ではドクタークラークと呼ばれています。これまで医師が行ってい

た事務的業務を多忙な医師の代わりに行っています。外来診療の補助は、医師が診療に集中でき、患者さんと向き合ったスムーズな診療、患者さんの待ち時間が少しでも短縮することを目指しております。また、「医療文書」の作成の代行も行っております。医師と連携を図り、依頼された医療文書が患者さんの手元に一日でも早くお渡しできるように努めております。

私たちの業務は医師の事務的負担を軽減する為に医師に 代わってサポートさせて頂くことです。これらの業務を通し て、患者さんへ質の高い医療を提供できるお力添えになり たいと願い、日々業務に努めております。



伊藤知和医局長とクラーク

## 院内レストラン新装開店

管理課長 関口実直

研修棟2階にありました喫茶店が、平成26年5月7日より病院1階中央廊下の中程の移転し、「ビアンモール」という名称でレストランとして新装開店(緑と白の看板が目印)いたしました。メニューも一新して、季節限定メニューも増えました。皆さんどうぞご利用ください。







#### 編集後記

夏は冬に憧れて、冬は夏に帰りたい…

今年も暑い夏が来ます。大ヒット映画「アナと雪の女王」で、雪だるまの"オラフ"は夏に憧れています。私も夏は大好きです。お祭り、スイカ割り、花火、鮎、海、ウクレレ…大好きなものだらけ。

医局長 外科医長 伊藤知和



【 ヤマユリ (市貝ハナミズキパーク) 】 表紙撮影: 小嶋 浩さん

## 外来診療担当医表

(平成 26年 7月 1日現在)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合診療科(初診)		沼尾(第1·3·5週) 長谷衣佐乃(2週) 野村 由至(4週)	池田 直哉	安西真紀子	沼尾(第2·4·5週) 勝部 乙大(1週) 森田 弘子(3週)	﨑尾 浩由
糖尿病·内分泌内科	午前	佐藤 稔	菊池 朋子	友常 孝則	佐藤 稔	森豊
	午後	佐藤 稔	菊池 朋子		佐藤 稔	
神経内科	午 前 午 後	川上俊幸			伊藤雅史	
#加古わり tt (左 然 :	' '~	川上俊幸		/	伊藤雅史	
物忘れ外来(午後・予約制)		18811 44-7	サル ソフ	伊藤雅史		# <b>4</b>
消化器内科	午前	櫻井 紘子	菅谷 洋子	宮腰 大輔	大木 了	菅谷 洋子
	午後	*******	菅谷 洋子	<b>三公士</b>	===±± ±+75	菅谷 洋子
呼吸器内科	午 前	森田 弘子	沼尾 利郎	長谷衣佐乃	野村 由至	勝部乙大
	午 後	森田 弘子	沼尾利郎/	長谷衣佐乃/	野村田至	勝部乙大/
			池田 直哉	安西真紀子		﨑尾 浩由
禁煙外来(午後·予約制)						沼尾 利郎/ 﨑尾 浩由
小 児 科	午後		影山さち子 (予防接種) [ 予 約 制 ]		影山さち子 子供養育相談ルーム [予約制](2・4週)	
外科	1 診	増田 典弘	芳賀 紀裕	滝田 純子	増田 典弘	伊藤 知和
	2 診	伊藤 知和	伊藤 知和	増田 典弘	勝又 大輔	芳賀 紀裕
整形外科	1 診	田中孝昭	茶薗 昌明 (初診のみ)	熊谷(第1·5週) 田中(第2·3·4週)	茶薗(第1·3·5週) 石川(第2·4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2 診	小牧 宏和		山元(第1·5週) 茶薗(第2·4週) 熊谷(第3週)		山本 駿
リウマチ科				熊谷(第1·5週)		
(整形外科1診)				田中(第2·3·4週)		
リハビリテーション科				茶薗昌明	茶薗 昌明	熊谷 吉夫
装 具 外 来		田中 孝昭				熊谷 吉夫

### - 外来受診案内 -

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30~11:00迄です。 緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 物忘れ外来につきましては、地域医療連携室にて電話での予約を受け付けております。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通) 担当(ソーシャルワーカー):永山・吉田・市村・齋藤(内線133)

#### ● 下記は入院患者さんを中心として診療しており、外来患者さんの紹介は受け付けておりません。ご了承願います。

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器內科	午 前		田所寿剛(1.3.5) 伊藤 致(2.4)	柴田 佳優		伊藤 致(2:4週)
	午 後	正和 泰斗 (15:00~16:30)	田所寿剛(1.3.5) 伊藤 致(2.4)	柴田 佳優		伊藤 致(2:4週)
腎 臓 内 科	午 後				岡田和久(2·4週)	
小児神経外来	午 後	奥野 章(3週)				
歯科		渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
眼 科(午後·予約制)						松原 忠之/ 和泉田真作
皮 膚 科(午後·予約制)			嶋岡 弥生			
耳鼻咽喉科(午後·予約制)		柏木 隆志/ 常見 泰弘/ 山川 秀致				



独立行政法人(NHO)

国立 機構 宇都宮病院 http://un-hosp.jp/

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160 TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148